

2017年3月22日

各 位

株式会社 三井住友銀行

太宰府市と三井住友銀行との観光振興にかかる連携協力に関する協定締結について

太宰府市（市長：芦刈 茂）と株式会社三井住友銀行（頭取：國部 毅、以下「三井住友銀行」）は、太宰府市の観光振興に関し、相互に連携・協力して包括的・継続的に取り組むため、2017年3月22日付で「太宰府市と三井住友銀行との観光振興にかかる連携協力に関する協定」を締結することについて合意しました。

1. 意義

太宰府市は、太宰府天満宮をはじめ九州国立博物館、太宰府政庁跡など多くの観光コンテンツを抱え年間800万人以上の観光客入込数を誇る観光都市として、現在、市中滞在時間の拡大、宿泊施設整備の検討など観光産業に関する取組強化を進めています。一方、三井住友銀行は2015年10月に九州における地方創生を目的とした「九州法人ソリューションセンター」を設置し、三井住友銀行の持つ国内外のネットワークを活用した地域活性化を手掛けており、両者が連携することで、積極的な官民連携を進め、太宰府市における観光振興施策のより一層の効果的な推進が期待されます。

2. 連携・協力事項

- (1) 太宰府天満宮の門前町、市内に数多くある史跡等を活用したまち全体での観光推進について
- (2) 観光都市としての太宰府市の魅力向上に資する事業
(西鉄太宰府駅など交通インフラと連携したにぎわい創出など)
- (3) その他太宰府市の地域活性化に資する事業

以 上